

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110019	X-01-A-1-110019	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
財政学	根岸 睦人			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年		

#### 授業目的

グローバル化が進展し国際的な経済競争が激化する一方で、社会における世代間・地域間・性別間・階層間の対立は強まっており、政府が果たすべき役割は大きくなっている。しかし、財政システムは財政赤字、負担の公平性、社会保障制度の持続可能性といった面で多くの問題を抱えている。財政の役割と諸問題を理解し、自ら考える力を身につけるため、本講義では財政の理解に重要な項目（財政の機能、予算、経費、租税、公債、社会保障財政）ごとに、その理論と制度、歴史を学習する。  
 当科目の内容は下記のディプロマポリシーと関連しています。  
 <情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生にできること>  
 <グローバルな課題への問題意識と国際教養を体得すること>

#### 各回の授業内容

<b>第1回</b> 【授】 財政学を学ぶ意味と方法 日本財政の現状（日本財政の現状と国際比較上の特徴について学ぶ） 【前・後】 『シラバス』の該当箇所を熟読しておくこと。復習に2時間。 <b>第2回</b> 【授】 現代財政の役割（1）（現代財政の役割として資源配分の調整、所得と富の再分配を学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、参考文献で予習。予習・復習に各2時間。以下同じ時間。 <b>第3回</b> 【授】 現代財政の役割（2）（現代財政の役割として景気の安定を学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第4回</b> 【授】 予算の意義と仕組み（1）（予算の意義と予算原則論について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第5回</b> 【授】 予算の意義と仕組み（2）（日本の予算編成過程と予算改革論について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第6回</b> 【授】 経費理論と日本の経費構造の歴史的变化 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第7回</b> 【授】 租税の理論（租税の定義、租税根拠論、租税転嫁論について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第8回</b> 【授】 租税の理論（租税の経済効果、租税原則論、日本の租税構造の国際的特徴について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。	<b>第9回</b> 【授】 日本の税制（1）（所得税の理論と制度について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第10回</b> 【授】 日本の税制（2）（消費税の理論と制度について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第11回</b> 【授】 日本の公債制度（公債発行の意義、日本国債の発行と償還制度について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第12回</b> 【授】 公債の理論（公債の経済効果を学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第13回</b> 【授】 財政の持続可能性をめぐる諸論点（財政破綻とはどのような状況を指すのか、財政を持続可能にするための財政運営について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第14回</b> 【授】 日本の社会保障財政の現状（日本の社会保障給付と負担の現状と国際比較上の特徴を学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第15回</b> 【授】 社会保障財政の各論（年金、医療、介護の制度と問題点について学ぶ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。 <b>第16回</b> 【授】 定期試験
---	--

#### 成績評価方法

成績評価は、期末試験 85%、授業外レポート 15%を合わせて総合的に評価する。  
 授業外で小レポートを課し、その内容について解説を行う。

#### 教科書・参考書

教科書：池上岳彦編著『現代財政を学ぶ』有斐閣ブックス（2,592円）。授業では適宜補足的なレジュメを配付する。  
 参考書：初回の講義で紹介する。

#### 受講に当たっての留意事項

政治経済社会に関する一般的知識を有し、かつ財政に対し高い関心を持っていることが望ましい。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

#### 学習到達目標

- ・社会経済問題に対する関心を高め、その問題に対し政府がどのような役割を果たすべきかを考察する力を養う。
- ・予算、経費、租税、公債、社会保障をめぐる理論と歴史、制度の特徴と問題点について理解し説明できること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習